

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 4 年 5 月 10 日



SERVE TO CHANGE LIVES

2021~22 年度

国際ロータリー会長

Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

Rotary



第 2939 例会

第 2534 号

2021.7~2022.6

会 長 森本博明

副 会 長 北村公一

幹 事 小川佳伸

雑誌・広報・会報委員長

澤木政光

本日 (5 月 10 日) のプログラム

「コロナ禍の休日」

卓話担当：松本 悟

次回 (5 月 17 日) のプログラム

「だまし絵の世界」

卓話担当：吉川秀樹

★会長の時間★

「青少年奉仕月間に因んで」

2021-22 年度 会長 森本博明

4 月 17 日 (日) の春の家族会お疲れ様でした。やっと実現した天橋立方面への楽しい一日でした。私は昔、丹後半島の間人(たいざ)という所へ毎週末のように夏の時期は行っておりました。道中、天橋立に立ち寄り色々な思い出もあり、あれから、かなり時が経っておりますが懐かしさと、久しぶりの天橋立が楽しみでなりません。当日は本当に天候にも恵まれ、行き帰りいっさい渋滞もなく午後 6 時までには帰宅出来、翌日への疲れも残らず、雲一つない快晴の中、久しぶりに皆様と心身ともにリフレッシュ出来た素晴らしい家族会でした。小牧会員改めてありがとうございました。

それと小牧会員は 6 月末日をもって当クラブを退会されます。早くより退会届をお預かりしておりました。そんなに早く出して頂かなくても大丈夫ですよと、お伝えしたら、「当クラブの細則には 3 ヶ月前と謳われているので」と、笑顔でさらりとおっしゃいました。人生の先輩でもある小牧会員の物事に対する判断基準、そしていかなる時も公私混同される事なくルールを重んじられ、またご自分には厳しく、他人には優しい小牧会員の人柄を感じました。それはまさにロータリーの「4 つのテスト」そのものだと感じを受けました。まだ 6 月末日までは時間はありますが、長年にわたり当クラブでの多岐にわたるご活躍本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

さて、来月 5 月は若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に集点を当てる「青少年奉仕月間」です。我々が未来を託す青少年の現状を認識し、多様なニーズを把握し、持続可能な活動が必要だと思えます。私たちが未来を託す青少年の育成は、ロータリーの責務であり、使命です。青少年の方々に、地元などでの奉仕プロジェクトや、海外との交流活動を通して、多彩な経験の機会を提供し、世界平和と異文化理解が実現されるよう、活動を続けていきましょう。さらなる輝きを放つように、と、若い力にエールをおくりましょう。我々ロータリアンは自ら行動を起こすことの大切さを十分に知っています。ぜひ、未来を担う青少年にもっと積極的に関与していただき、将来日本の社会や世界各地で活躍する人材として育てることが必要ではないかと考えております。ロータリーに限らず、地域社会、世界にとって青少年は言うまでもなく未来に向けての宝であります。特に現状のように、コロナ禍の問題、様々な自然災害、そしてロシアによるウクライナ侵攻の問題などによる世界各地での不穏な状態。今迄、人類があまり経験したことのない時だからこそ、青少年の育成へのご協力をお願いすると共に改めてロータリーの最終的な目的は世界平和だと信じております。

(令和 4 年 4 月 26 日)

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例会日時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事務局：10 時~16 時(土日祝を除く)

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2938回	第2935回
例会日	4月26日	4月5日
① 会員数 A	36	34
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	28	26
③ 出席義務者出席数	24	20
④ 出席免除者出席数	6	6
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	4	6
出席率 %	88.24%	84.38%

出席率(2938回) ③+④/②+④ 出席率(2935回) ③+④+⑤/②+④

○幹事報告○

- ・国際ロータリー第2660地区より
「2022-23年度(2021-22年度申請)財団地区補助金申請受付期間延長のご案内」が届きました。
- ・「大阪RAC「チャリティクラフトビール」のご案内」が届きました。

🌀 掲 示 板 🌀

- ・第11回定例理事会(新旧合同)
日時:2022年5月10日(火) 本日例会終了後
場所:ベルクラシック 空港
- ・5月17日の青少年奉仕フォーラムは中止といたします。
- ・地区会員増強セミナー
日時:2022年5月28日(土)
場所:大阪YMCA国際会館
- ・豊中RC 春の親睦ゴルフコンペ
日時:2022年5月29日(日)
場所:有馬カンツリー倶楽部
〒669-1334 兵庫県三田市中内神南山 841
TEL:079-565-2111
- ・国際大会
6月4日~8日ヒューストンで開催されます。
- ・四大奉仕委員長の卓話 「一年を振り返って」
2022年6月14日(火) 例会時 於:例会場
- ・新旧クラブ協議会
日時:2022年6月14日(火) 例会終了後
場所:ホテルアイボリー 「かやの間」
- ・創立記念日例会
日時:2022年6月18日(土) 18:00~
場所:ホテルアイボリー
- ・会長・副会長・幹事の卓話 「一年を振り返って」
日時:2022年6月28日(火) 例会時
場所:ホテルアイボリー
- ・ニコニコクイズ
日時:2022年6月28日(火) 例会時
場所:ホテルアイボリー

🎉 新会員のご紹介 🎉

○志村 浩一(しむら こういち)新会員



入会日:2022年4月5日
生年月日:1974年7月26日
職業分類:生命保険業
推薦者:森本・小川各会員
事業所:第一生命保険株式会社

志村 浩一 会員



ご入会おめでとうございます。
会員一同、心より歓迎申し上げます。

第8回豊中ロータリークラブ ZOOM 談話室報告

令和4年4月25日20時開催

参加者:小川、北村、米田、松山、原、宮田、森本
(敬称略、五十音順)

話題:①引継ぎには活動だけでなく予算についてまでおこなう、引継ぎにかんするマニュアルをつくる必要がある。②例会場変更の際の問題点として交通の便、例会準備、費用等について。③子ども食堂支援についての青少年奉仕委員会の申し送り、来年の米価の状況によりクラブの負担が増えるおそれがある。④例会のあり方について、現在は行事が立て込んで会話をしている時間がほとんどないのは問題である。⑤クラブではじめたInstagramに他クラブがフォロアーになりみていただいている。⑥ZOOM談話室の参加者が少ない、もっとくだけた話題にすべきである。参加者がすくなくても継続すべきである。等々、貴重なご発言、ありがとうございました。

次回は5月におこないます。日程は未定。
(文責北村公一)

☆5月受付当番☆

チーフ:吉川秀樹会員

5月10日 宮田幹二会員、松本拓朗会員
5月17日 矢野昭会員、立石渡会員

◎副幹事・副SAA当番◎

5月副幹事 豊島了雄会員
5月副SAA 松本 悟会員

🌸5月のお祝い🌸

- ・入会記念日
畑田耕一会員 H. 8. 5. 7
佐川正治会員 H.11.5.11
谷野桂子会員 H.21. 5. 1
眞下 節会員 H.24. 5. 1
松本拓朗会員 H.30.5.15

- ・ご夫人誕生日
北村公一会員
洋子夫人 5.28
吉川秀樹会員
聖子夫人 5. 3

- ・会員誕生日
武枝敏之会員 S.22. 5.14
立石 渡会員 S.45. 5.11
- ・結婚記念日
矢野 昭会員 H.4. 5. 4
小川佳伸会員 H. 5. 5.15
松本拓朗会員 H.10. 5.16



🗨️4月26日の卓話🗨️

「難治性がん制圧のためのアスタチン核医学治療薬の開発」

卓話担当：大阪大学大学院理学研究科 深瀬浩一



急速に少子高齢化が進む中、豊かで健康な長寿社会、安全・安心なスマート社会を実現することは、日本にとって喫緊の課題となっている。そこで大阪大学では、大学、研究機関、企業が連携して、加速器で作られる放射性核種を利用した核医学治療開発研究が行われている。

日本人が一生のうちにがんと診断される確率は2人に1人であり(2017年データ)、またがんで死亡する確率は男性で4人に1人、女性で6人に1人(2019年データ)である。がんの診断法や治療法の進歩により、生存率は徐々に改善されてきているが、2009~2011年にがんと診断された人の5年相対生存率は64%であり、早期診断法ならびに効果的治療法の開発が強く望まれている。

がん患者の1/3は初診時に隣接臓器浸潤、遠隔転移などの進行がんであり、現在の治療では生存率は低い(5年相対生存率が15%以下)。新治療法として、放射性同位元素(ラジオアイソトープ)を特定の疾患部やがん病巣に集中させて、体内からがんを照射するという核医学治療が注目されている。ベータ線核医学治療薬としては、甲状腺がんを対象にした Na^{131}I 、B細胞性非ホジキンリンパ腫治療薬ゼヴァリン、神経内分泌腫瘍を対象にしたルタセラがあり、一方で、アルファ線核医学治療薬としては、骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌治療薬ゾーフイゴ($^{223}\text{RaCl}_2$)が上市されている。アルファ線核医学治療は、アルファ線の高い線エネルギーのため細胞殺傷効果が高く、アルファ線の短い飛程のため周辺臓器の侵襲がない、患者からの放射能漏れがなく隔離病棟が必要とされない、短寿命アルファ線放射性核種を用いれば外来加療が可能であるなど、高い治療効果と副作用の低減、安全性、利便性の向上が期待される画期的な治療法である。

鍵となるのは、がん細胞にのみアルファ線核医学治療薬を送達するという高度な薬物送達手法の開発であり、以下のように化学者と医学者が協力して目的を達成してきている。大阪大学では、アルファ線放射核種としてアスタチン ^{211}At (半減期:7.2時間)を用いた難治性がんの治療薬開発に取り組んできた。同一キャンパスに国内最大級の加速器と臨床研究の中核となる病院を有するという利点を活かして、理学研究科、医学系研究科、核物理研究センターの部局間共同研究として2015年に研究がスタートし、2018年には、放射線科学基盤機構を設置して、放射線の管理と教育に加え、筆者は放射線研究部門長として、アルファ線核医学治療開発研究に携わっている。実用化を目指した複数の開発候補薬があり、難治性甲状腺癌を標的とする ^{211}At 標識アスタチン化Na($^{211}\text{At}-\text{NaAt}$)は2022年2月に医師主導治験が始まった。その他にも、腫瘍特異的に発現しているアミノ酸トランスポーターLAT1を標的とした薬剤について、 ^{211}At 標識フェニルアラニン($^{211}\text{At}-\text{Phe}$)を脳腫瘍の治療薬として、 ^{211}At 標識 α メチルチロシン($^{211}\text{At}-\text{AAMT}$)を膵臓がんや転移性の悪性黒色腫の治療薬として開発中である。また ^{211}At 標識抗体など生物製剤についても開発を進めている。昨年の4月には、ベンチャー企業としてアルファフュージョン株式会社を設立するなどアルファ線核医学治療の社会実装を目指した活動を行なっている。

・β線核医学治療:周辺のがん細胞も殺傷

・α線核医学治療:高い細胞殺傷効果、α線の短い飛程 → 周辺臓器の侵襲が少ない、短寿命核種 ^{211}At → 治療時間の短縮(QOL向上)

